

2024. 7. 7投票の東京都知事選挙

財界・富裕層ファースト、公約破り、自民党都政を引き継ぐ 小池都政をリセット 市民と野党の共闘で 都民本位の都政に転換させ、いのち、暮らし、平和を守ろう！

7月7日投票の東京都知事選挙にあたって、千代田区労働組合協議会常任幹事会は、6月4日、以下の「都知事選挙に向けたアピール」を発表しました。

(1) 都民不在、財界・富裕層ファースト、公約破り、自民党都政を引き継ぐ2期8年の小池都政

東京都知事選挙は、6月20日告示、7月7日投開票で行なわれます。

小池都知事は8年前の2016年、自民党の国会議員として都知事選挙に立候補し、自民党の公認が得られず、逆に自ら所属する自民党都政の汚職と腐敗、築地市場の豊洲への移転反対の世論に便乗し、自民党と対決する姿勢を前面に出して都知事になりました。

しかし、2期8年の小池都政は、都民の期待を大きく裏切り、公約を実行せず、自民党都政を引き継ぎ、石原都政以来続く、都民不在、財界・富裕層最優先の大規模再開発などを積極的に進める施策を続けてきました。

行政はDXの名のもと都民サービスは削減され、首都東京における貧困と格差はかつてなく広がり続け、生活困窮者が増えています。築地市場移転問題では、公約を翻して立ち止まらず豊洲移転を強行しました。いま、築地市場跡地には巨大スタジアム建設やIR誘致などが計画されています。

現在の物価高騰は、都民の生活を苦しめています。都内で働く労働者の賃上げも物価上昇を上回る水準に達していません。東京都は、物価高騰を上回る中小企業の賃上げ支援策、生活の困難・貧困の広がりへの支援策を実施する財政力が十分にあるのに実施しません。

東京都は常勤職員を削減し非正規化と民間化を推進し、低賃金・不安定雇用の職員へ置き換えています。会計年度任用職員として働く都立学校のスクールカウンセラー1000人のうち250人を雇止めました。「2020 東京オリンピック」は開催延期の声を無視して強行し、コロナの感染爆発につながり多数の救える命が失われました。莫大な開催費用に税金が浪費され、神宮外苑の森を含む再開発利権とつながり、底なしの汚職となって既得権益者を潤しました。

小池都知事は発覚した収賄事件を解明せず、隠ぺいのため組織委員会を早々に解散し、責任

を逃れました。

都民の憩いの場である明治神宮外苑の森は、国民的な勤労奉仕と献木によりつくられた公共空間であり、国民の財産です。樹木伐採計画は広範な市民・住民の反対運動となり、ネット署名は23万筆を超えていました。小池都知事の言う「稼げる東京」を象徴する外苑再開発は、何より時代に逆行する環境破壊と大企業奉仕です。

都立・公的病院の統廃合、医療・保健体制の縮小は石原都知事時代からの施策を踏襲し、コロナ禍において医療崩壊を招きました。医療崩壊がなければどれだけの命が救えたか、忘れてはなりません。この行政的医療の拠点である都立病院を独法化した暴挙は許されません。

米軍基地問題では、首都東京に米国の侵略戦争の前線基地がある異常、「核兵器配備」の危惧、「米中戦争」の際は攻撃目標となる等の本質的問題から、欠陥機オスプレイの配備、人体に有害な環境汚染物質の垂れ流し、都民の飲料水汚染という日常生活の安全を脅かす問題が山積していますが、都知事として何一つやらない姿勢です。

東京都知事という極めて重い公共的・社会的職責を担う人物が、学歴詐称疑惑、公文書偽造疑惑に正面から答えられないことは大きな問題です。学歴のサバ読みだけで辞任をした議員がいる中、詐称のうえ偽装工作をエジプト政府に依頼したとされる疑惑は重大です。

(2) 都政に対する基本要求

いのち、暮らし、福祉、医療、子育て最優先、貧困と格差をなくす東京を

大型開発を止め、災害に強い、住み続けられる東京を

憲法を守り生かし、平和と人権、ジェンダー平等、若者が希望の持てる東京を

地球と環境にやさしい持続可能な東京を

- 新型コロナ感染症が5類化後、東京都としての感染予防対策と医療体制の拡充を求める。医療・保健体制の抜本的拡充、医療機関への直接経営支援、コロナ不況後の医療機関への支援、医療従事者が安全に安心して働ける賃金・労働条件の確保。総合的な感染症対策を整備する。独法化された「都立病院」の利用者サービスの維持、医療従事者待遇確保を強く求める。
- 自治体として憲法の理念を社会に活かす都政の実現。
- 潤沢な都財政（一般会計・年8.5兆円）を生かし、都内で働くすべての労働者の賃金引上げにつながる施策の実施。貧困と格差を無くし、雇用の安定と働くルールの確立。8時間働けば普通に生活できる賃金の実現。同一労働・同一賃金、非正規労働者と正規労働者の均等待遇を実現する。
- 東京都が率先し、最低賃金を生計費原則に基づき生活できる賃金へと大幅に引き上げる。全国一律最低賃金時給1,500円以上の実現に向けて、最低賃金の引き上げと中小企業への真の

支援策を一体的に推進、拡充する。公契条例を制定する。

5. ジェンダー、人種、年齢、障がいなど、あらゆる差別を許さない。選択的夫婦別姓制度、LGBTQ+など差別のない平等な都政の実現、東京都から性暴力を根絶するため実効性のある条例等整備を求める。ジェンダー平等にもとづき、誰もが尊重される都政の実現。
6. 教職員の過酷労働のは是正。1教室 20 人以下の少人数学級実現、特別支援学校においても同様の設置基準を設定。教職員の増員。教育の民間開放、民間試験の導入反対。侵略戦争美化の教科書採択阻止。
7. 零細事業者に対する課税強化反対。マイナンバーカード強制と取得しないことでの不利益反対。健康保険証廃止反対。マイナンバーの民間開放反対。
8. 医療、介護、保育、貧困対策など都による社会保障制度の拡充。公衆衛生・保健体制の拡充。教育予算の拡充、教育費の無償化。
9. 気候正義を求め地球温暖化・気候危機への対策を抜本的に強化する。CO₂ 排出量の大幅削減。東電株主として原発再稼働・新型革新炉新設反対、再生可能エネルギーへの転換で原発ゼロの実現。福島原発事故被害者の支援。
10. 都民生活を破壊する自由貿易協定に反対。
11. 東京都の政治改革の実現、議会軽視の都知事専決処分の停止。
12. 住民サービス、公務・公共労働者の労働条件改悪となる行政の民間委託反対。都職員の増員。
13. すべての米軍基地撤去。横田基地へのオスプレイ配備反対。PFAS の漏洩防止の徹底と東京都として米軍基地敷地内の調査。
14. 表現の自由や団体行動を制約する法・条例の廃止、撤廃。ヘイト・スピーチの防止。
上記、基本要求を掲げて、都知事選挙を取り組みます。

(3) 新しい都知事の誕生で、都政を民主的に転換し、労働者の要求前進を図ろう

今回の東京都知事選挙は、都民不在、財界・富裕層ファースト、公約破り、自民党都政を引き継ぐ小池都政を転換するチャンスが到来している選挙です。

東京地評は、小池都政の転換を求める市民と野党の共闘が実現し、蓮舫さんを東京都知事選

候補者として確認したことを受け、5月31日、蓮舫さんを東京都知事選候補者として推薦することを決定しました。

蓮舫さんは、「裏金事件の金権腐敗の自民党政治と闘わなければならない、自民党政治の延命に手を貸す小池都政は終わらせないといけない。その先頭に立つのが私の使命だ」と決意しています。

千代田区労協は、東京地評の方針を受けて、都政に対する基本要求を掲げて、今回の東京都知事選挙で蓮舫さんを支持して取り組むこととします。また、市民と野党の共闘を受けて活動する革新都政をつくる千代田の会の行動にも参加し、取り組みます。

(4) 具体的な取り組みについて

1. 革新都政の会の決起集会に参加します。6月18日（火）18時半～ 中野ゼロホール
蓮舫さんを激励し、都知事選を闘う決起集会です。
2. 都政問題の学習会に参加します。
 - ・政治を変える！学習決起集会を成功させます。6月4日（火）18時半から20時半 エデュカス東京地下会議室 「自民党政治を追撃し政権交代を実現しよう」五十嵐 仁（法政大学名誉教授）
 - ・革新都政をつくる千代田の会の学習会に参加します。6月15日（土）10時から12時 エデュカス東京5階B会議室 「豊かな財政を都民のものに！」野中 郁江（明治大学名誉教授）
3. 革新都政をつくる千代田の会の宣伝行動等に参加します。
6月9日（日）お茶の水駅前 14時から15時
6月15日（土）有楽町イトシア前 14時から15時
6月22日（土）秋葉原駅電気街口 14時から15時
6月29日（土）有楽町イトシア前 14時から15時
7月6日（土）お茶の水駅前 14時から15時
4. X（旧ツイッター）等で候補者の政策などを広げます。
5. 地評作成の宣伝物を活用し、駅頭などで宣伝をします。
6月6日（木）九段下駅 18時から18時半（6・9行動と兼ねる）
6月19日（水）お茶の水駅 18時15分から18時45分（消費税宣伝と兼ねる）
6. 加盟組合などに、都知事選挙の訴えをしていきます。

以上

（千代田区労協事務局長 小林秀治）

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしています。

*千代田区労協通信バックナンバー/http://www.chyda-kr.org/kroukyou_news2023.htm